

ニコラス・ケイジ サム・ロックウェル アリゾン・ローマン

リドリー・スコット監督最新作

マッチスティック メン

その男、潔癖症の詐欺師。

2003年秋
絶対キレイに、
だまされる

ワーナー・ブラザース映画提供 イメージマーベル／スコット・フリー制作 リックショーン・プロダクションズ、ライブネット提携 リドリー・スコット作品

ニコラス・ケイジ サム・ロックウェル アリゾン・ローマン “MATCHSTICK MEN” ブルース・マッギル

音楽:ハンス・ジマー 共同製作:チャールズ・J・D・シュリッセル ジャニーナ・ファシオ 編集:ドニー・ドーン, A.C.E. 美術:トム・フォーテン 撮影:ジョン・マシソン, B.S.C.

製作総指揮:ロバート・ゼメキス エリック・ガルシアの小説に基づく 脚本:ニコラス・グリフィン & テッド・グリフィン

製作:ジャックラップ/リドリー・スコット スティーブ・スター/キー ショーン・ベイリー テッド・グリフィン 監督:リドリー・スコット

原作:ソニー・マガジンズ AOLキーワード:マッチスティックメン

www.matchstick-men.jp

「ハンニバル」「グラディエーター」「ザ・ロック」「フェイス・オブ」

リドリー・スコット × ニコラス・ケイジ



この新コンビにあなたはもう、騙されてる!
だま

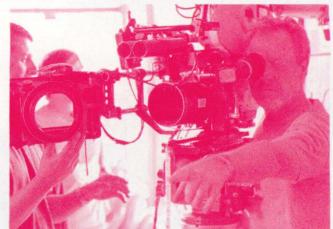
2人が選んだのは、「潔癖症の詐欺師」が主役のスタイリッシュ、コン(詐欺)・ムービー!

「ブレードランナー」でSF映画の、「ハンニバル」でサイコ・ホラーの最高峰を極め、アカデミー賞最優秀作品賞に輝いた歴史アクションの傑作「グラディエーター」を世に送り出したリドリー・スコットが次に選んだ作品——それは、スタイリッシュなコン・ムービー。巨匠リドリー・スコットとアカデミー賞俳優ニコラス・ケイジが初めて組んだ『マッチスティック・メン』は、潔癖症の詐欺師と、突然あらわれた彼の14歳の娘の物語だ。

リドリー・スコットが、数あるオファーの中からこの作品を選んだ理由は、何といってもストーリーの面白さ。「並みはずれて才氣にあふれた脚本」とスコットが絶賛する脚本を手がけたのは、「オーシャンズ11」のテッド・グリフィンとニコラス・グリフィン。そしてプロデューサーは「フォレスト・ガンプ 一期一会」でアカデミー賞を受賞したロバート・ゼメキスという、ハリウッドきっての豪華なヒットメーカーが顔を揃えた、この秋一番のエンターテイメントだ。

ニコラス・ケイジが演じる詐欺師ロイは、オフィスの電話を毎朝消毒せずにいはらず、下着や靴下を小さくたんできちんと積み上げないと気が済まない潔癖症。ほとんどツナ缶だけを食べて生きているが、食器が汚るので缶からそのまま食べている。そんな彼が、詐欺稼業に没頭している時だけは、潔癖症を忘れ、芸術的ともいえる手腕を発揮するのだ。ある日ロイの前にあらわれたのが、離婚時に妊娠していたかつての妻が産んだ実の娘アンジェラ。14歳の彼女が父の家の汚れひとつないカーベットを靴を脱がずに踏みつけた瞬間から、彼の人生は思いもかけない方向に変わっていく。「パパの仕事を私もやってみたい!」とせがむ娘に逆らえず、ついつい自分の手腕を披露してしまうロイだったが……。

アンジェラ役を演じるのは、「ホワイト・オランダー」に主演して絶賛されたアリソン・ローマン。ロイの相棒フランクに、「コンフェッショն」でベルリン映画祭の最優秀主演男優賞を受賞し、いまノリに乗るサム・ロックウェル。ひねりのきいたユーモアと意外性に満ちたストーリーテリングで観客をとりこにする、極上のエンターテイメントがここに誕生した。



今秋ロードショー!!